

# あなたと創る うしくの新時代!

## 横田きよやす

元 内閣官房参事官補佐

### 横田きよやす プロフィール

1992年、旧通商産業省(現経済産業省)へ入り、内閣府地方創生推進事務局参事官補佐などを務めた後、益子町副町長に就任。現在、(一社)地方創生振興機構代表理事として、地方創生を社会に普及させる各種事業に取り組んでいる。

# 緊急フォーラム開催

現在の牛久市の財政は、社会保障費等の増加に伴い硬直化しており、市税収入が大幅に減少し市債残高は増加傾向です。財政を改善しながら子どもたちの未来を創り、市民の誰もが豊かさを感じるまちづくりのために、今すぐ行動が必要です。

そこで、現在の牛久市の状況をお伝えするとともに、市民の皆さまと今後の方向性を考えるフォーラムを6月から7月にかけて計3回開催する運びとなりました。ともに新しい牛久を創る一歩を踏み出しましょう。

日時 2023  
6/24<sup>土</sup>、7/9<sup>日</sup>、7/22<sup>土</sup>

会場 中央生涯学習センター 大講座室  
茨城県牛久市柏田町1606-1

開演 18:30  
(開場18:00)  
終了予定20:00

入場無料

### お申し込みはこちら

◎参加希望の方は登録フォームよりお申し込みください。

※ご登録なしでも参加できます。  
※満席の場合は事前登録の方を優先させていただきます。



<https://yokota-kiyoyasu.com/>



お問い合わせ先

[主催] (一社) 地方創生振興機構 [運営] うしくの新時代を創る会

Tel. 029-886-9680 Fax. 029-886-9668 E-mail: [info@yokota-kiyoyasu.jp](mailto:info@yokota-kiyoyasu.jp) <https://yokota-kiyoyasu.jp>

# 緊急フォーラムのご案内

第1回

6/24<sup>±</sup>

## 財政健全化で豊かで活力あるまちへ

牛久市は平成29年度以降の大型公共事業実施で市債残高を大幅に増加させており、借金に依存し続ければまちの活力は失われていきます。今後は、費用対効果を十分に精査し、成果を意識した行財政運営で市債残高を減少させ、将来世代にツケを回さないようにすべきです。

例えば

- 事業の選択と集中による市債残高の減少
- 国庫補助金等を積極的に活用した事業計画
- ふるさと納税等の新たな財源確保



第2回

7/9<sup>日</sup>

## 民間投資で仕事のあるまちへ

牛久市の市税収入が令和3年度に大幅減少したのは、新型コロナウイルス感染症の影響で個人住民税が減ったのが主な要因です。今後は、安定的な財源の確保に向け、企業誘致で法人住民税の比率を高めるため、民間投資を喚起する事業に取り組むべきです。

例えば

- スマートICと企業分譲地の一体整備
- ひたち野リフレにサテライトオフィスを整備
- 牛久シャトー運営の民間委託



第3回

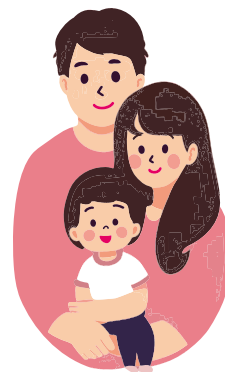
7/22<sup>±</sup>

## 子育て世代に選ばれるまちへ

牛久市で平成31年から人口減が続いているのは、子育て世代の流入が少ないことが主な要因です。今後は、子育てにかかる経済的な負担の軽減を図るとともに、子育て環境や教育にも力を入れることで、住みたいと思える環境を整えるべきです。

例えば

- 子ども医療費の無料化
- 0～2歳児の保育料の無料化
- 学童保育の量的・質的拡充



横田きよやす  
公式LINE



LINEの友だち登録は  
こちらから